

総括 (全21項目)

全21項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれの目標の達成を目指して取り組みを進めてきた。第4期計画期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各分野の取り組みは大きな影響を受けてきたが、5類感染症移行後は、感染状況の落ち着きとともに、明るい兆しも見えつつある。特に農業分野では、スマート農業の推進や生産営体制の強化等により、生産性の向上及び売上高の増加につながった。また、観光分野では、桂浜公園のリニューアルオープンやよさこい祭りの開催等により、観光客が増加している。今後とも、市町村等と連携し、各地域アクションプランの取り組みの検証や見直しを行いながら、雇用の創出や所得の向上を目指す地域主体の取り組みを後押しする。

第4期計画まで推進してきた地域産業クラスタープロジェクトの取り組みは、引き続き、第一次から第三次産業までの多様な仕事を地域地域に生み出す視点を持って地域アクションプランの下で推進していく。

これまでの取り組みの成果等

◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

■農業分野

(ユズ)

＜成果＞

- ・新植等による栽培面積の拡大やプレ選果機の稼働、スマート農業の導入
→生産基盤の強化、青果出荷の拡大及び生産性の向上

＜今後の方向性＞

- ・スマート農業の推進による省力化及び生産力強化
- ・ユズ精油・芳香蒸留水等の販路拡大

(有機農産物)

＜成果＞

- ・生産・営体制の強化、各種展示商談会への出展、EC販売の促進
→売上高の増加

＜今後の方向性＞

- ・ほ場及び遊休地、耕作放棄地の活用による有機農産物の生産拡大
- ・衛生管理の高度化による加工品の増産体制の構築
- ・海外や高級ホテルをターゲットとした有機農産物及び加工品のさらなる販路拡大

■林業分野

(イタドリ)

＜成果＞

- ・県内各地域への苗の販売及び技術的指導、生産者連携協議の実施
→生産地の拡大、加工品販売額の増加

＜今後の方向性＞

- ・耕作放棄地等の活用による安定的な生産量の確保
- ・生産販売計画の策定及び実行による販売額の増加

■商工業分野

(中心市街地の活性化)

＜成果＞

- ・高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）登載60事業中58事業が「事業完了」または「事業実施中」（進捗率97%）
→中心市街地の居住人口増加、コロナ禍で減少した歩行者通行量が復調

＜今後の方向性＞

- ・高知市中心市街地活性化基本計画（第三期計画）登載58事業の実施による賑わいと活力のある中心市街地の形成

■観光分野

(桂浜公園)

＜成果＞

- ・観光振興推進総合支援事業費補助金等の活用による既存施設の耐震補強工事の実施
- ・新たな指定管理者による施設のリノベーションやイベント等の実施
→来場者数の増加

＜今後の方向性＞

- ・観光資源のさらなる磨き上げによる全国からの誘客促進

◎地域アクションプランによる雇用の創出(R2～R5) 9人

主な取り組み事例

No.4 ユズを核とした中山間農業の活性化

地域:高知市土佐山

実施主体:JA高知市、高知市土佐山柚子生産組合、土佐山ファクトリー協同組合、旭フレッシュ(株)、高知市

取り組み
の内容

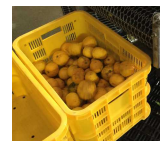
- ・ドローンによる防除作業受託の試用開始
- ・プレ選果機の稼働による青果出荷の拡大
- ・新植・改植の推進

主な
成果

- ・ユズ販売額(暦年)
⑩:1.6億円 → ⑤:2.1億円
- ・ユズ精油等販売額
⑩:3,877万円 → ⑤:2,365万円
- ・雇用創出数(②～⑤):4人

今後の
方向性

- ・スマート農業技術等を活用した生産力強化
- ・現地検討会等による技術力向上
- ・担い手対策の検討及び実行
- ・ユズ精油・芳香蒸留水等の販路拡大



No.10 イタドリの外商推進による中山間地域の振興

地域:高知市鏡

実施主体:高知県イタドリ生産普及販売促進協議会、連携農家

取り組み
の内容

- ・県版HACCP第2ステージ認証取得
- ・イタドリ加工技術研修会の開催
- ・県内外の商談会等への出展
- ・生産者連携協議の実施

主な
成果

- ・鏡産イタドリ苗の販売地域
76箇所(⑨～⑤累計)
- ・イタドリ加工品販売額
⑩:89.4万円 → ⑤:315.8万円

今後の
方向性

- ・耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大
- ・省人化に向けた皮剥機導入試験の実施
- ・生産販売計画の策定及び計画に基づく販売促進



No.17 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展

地域:高知市

実施主体:高知市、(公社)高知市観光協会、そのほか関係団体等

取り組み
の内容

- ・よさこい祭りの運営体制の充実
- ・県外のよさこいで観光PR
- ・高知よさこい情報交流館の企画充実

主な
成果

- ・よさこい祭り来場者数
①:115万人 → ⑤:107万人
- ・高知よさこい情報交流館入館者数(暦年)
①:56,638人 → ⑤:41,261人

今後の
方向性

- ・持続可能な祭りの開催に向けた関係者協議
- ・よさこい祭り発祥の地としてのブランド化の推進
- ・魅力向上につながるコンテンツ強化



農業 林業 商工業 観光

※○囲み数字は時点を表す
例) 令和5年度=⑤

No.6 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興

地域:高知市土佐山

実施主体:(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家

取り組み
の内容

- ・商談会への出展
- ・EC販売の促進
- ・経営改善計画の実行

主な
成果

- ・販売額
⑩:1.73億円 → ⑤:2.1億円
- ・雇用創出数(②～⑤):7人

今後の
方向性

- ・連携農家への有機農業についての技術指導
- ・耕作放棄地等を活用した有機農産物の生産拡大
- ・経営安定化に向けた事業計画及び雇用計画の実行
- ・HACCPに沿った衛生管理への対応
- ・EC販売の強化による販路拡大



No.14 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上

地域:高知市

実施主体:高知市、高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体

取り組み
の内容

- ・高知市中心市街地活性化基本計画(第二期・第三期)の推進

主な
成果

- ・歩行者通行量
⑩:121千人/2日・17地点
→ ⑤:110千人/2日・17地点
- ・中心市街地の居住人口
⑩:5,215人 → ⑤:5,755人

今後の
方向性

- ・第三期計画(R5～R9)登載58事業の実施
- ・商店街でのイベント等の実施



No.18 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興

地域:高知市

実施主体:高知市、(株)はりま家、民間事業者

取り組み
の内容

- ・指定管理者による商業エリアのリニューアルオープン
- ・指定管理者によるイベント実施やSNSによる情報発信
- ・高知灯台周辺、櫓の小径整備

主な
成果

- ・桂浜公園来園者数(暦年)
①:649,096人 → ⑤:756,507人

今後の
方向性

- ・回遊性向上及び新たな賑わいづくり
- ・周遊拠点としての機能強化
- ・国民宿舎の利活用等による公園全体の魅力向上



第4期高知市地域アクションプランの取り組みの総括（2/2）

第4期計画で設定した数値目標に対する評価

R5数値目標に対するR5実績の達成状況により5段階評価を実施
※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したものもあるため、下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準	件数	構成比
S	数値目標の達成率 110%以上	2件	6.9%
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満	3件	10.3%
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満	8件	27.6%
C	数値目標の達成率 70%以上85%未満	5件	17.2%
D	数値目標の達成率 70%未満	11件	37.9%
評価 計		29件	100%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない。

主な支援策の活用状況（R2～R5）

① 高知県新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金	1事業	2,392千円
② 高知県観光振興推進総合支援事業費補助金	2事業	49,224千円
③ 高知県観光施設等緊急整備事業費補助金	1事業	194,010千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	2件	25回



○桂浜公園
R5.3月リニューアルオープン

地域AP No.18
R2・3年度観光施設等緊急整備事業費補助金
※観光案内所及び園路整備等に係る補助



○一般財団法人夢産地とさやま開発公社
R2～R4経営改善

地域AP No. 6
R2～R4年度産振アドバイザー派遣

課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項 目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
No.2 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興	・輸出事業計画に基づく取り組みにより、輸升本数は増加傾向にあるが、需要を逃さない出荷への対応ができていない。 ・需要に対応するため、市場やJA等の関係機関と連携した出荷計画の作成および計画に基づく作付けを行う必要がある。	◎関係機関と連携して、外商に向けた取り組みを推進する。 ・鮮度保持技術や希少品種の早期増殖の推進による生産体制の強化 ・病害虫対策の徹底による秀品率の改善 ・輸出向け有望品種の現地実証及び評価の促進 ・中国等ニーズの高いエリアをターゲットにしたマーケティング戦略のさらなる検討及び実行
No.6 「まろごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興	・産業振興アドバイザー制度を活用して経営改善等に取り組み、経営状況は回復の兆しがあるが、販売額は目標を達成していない。 ・有機ショウガを使ったジンジャーエール等の主力商品の増産に向けた体制の整備及び衛生管理の高度化を行い、経営基盤を強化する必要がある。	◎各部門の売上の安定化及び拡大に向けた取り組みを推進する。 ・増産体制の整備及び衛生管理の高度化による主力商品の増産 ・営業力の強化による販路拡大 ・既存設備を活用した商品ラインナップの充実
No.10 イタドリの外資推進による中山間地域の振興	・ニーズは高いものの、生産体制が整備されておらず、加工品販売額の目標を達成していない。 ・生産者・加工者間での生産量の増加等に向けた課題や対策等の情報共有を継続する。 ・食品工業団地等の関係機関と連携して、市場ニーズに合った生産量を確保できる体制を整備する必要がある。	◎関係機関と連携して、外商に向けた取り組みを推進する。 ・は場の拡大による生産力の強化 ・生産計画の策定及び安定生産できる体制の構築 ・機械化(皮剥機)による生産性の向上
No.11 春野地区の農産物の付加価値向上	・県内外での各種商談会等に参加し、販路拡大に向けて積極的に取り組んでおり、販売額は増加傾向にあるが、目標を達成していない。 ・ベルガモット加工品のニーズに合った生産量を確保できる体制を整備するため、県内全域での生産者（連携農家）の掘り起こしを行う必要がある。	◎輸出に対応した生産・販売体制の構築に向けた取り組みを推進する。 ・県内全域でのベルガモットの生産拡大 ・輸出国に合わせたHACCPの導入 ・生産性向上に向けた設備機器等の導入 ・増産を見据えた販売チャネルの確立
No.15 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化	・出店要件の緩和により新規出店を促してきたが、コロナ禍や出店要件を満たさない等の理由により新規出店者数は目標値を達成していない。 ・販売実習等の場としての活用等、教育機関との連携を継続する。 ・新規出店者の増加や消費額増加に繋げる取り組みが必要である。	◎新規出店者の増加及び消費額増加に向けた取り組みを推進する。 ・出店者や地元利用者、観光客のニーズに応じた出店基準について検討 ・新規出店募集の広報の強化 ・SNS等を活用した情報発信による利用者の獲得